

ピアニスト 織田祥代プロフィール

東京芸術大学附属音楽高等学校を経て東京芸術大学器楽科ピアノ専攻卒業、同大学院修士課程音楽研究科ピアノ専攻修了。

在学中、第13回草津国際アカデミーにてヴィレム・ブロンズ氏師事し、[Student Concert]に選ばれ出演。院在学中、東京文化会館主催オーディションに合格し、「新進音楽家デビューコンサート」に出演。院終了後渡欧し、アムステルダム国際音楽アカデミーマスタークラスにてファイナルコンサートに出演。2000、01、02年ソロリサイタルを開催し講評を博す。2011年より「音楽家たちの饗宴、室内楽シリーズ」にて、新日フィルメンバーと共演。「2台、3台ピアノ協奏曲の夕べ」にて、Mozart、J.S.Bachの協奏曲をオーケストラと共演。

また、アムステルダム、コンセルトヘボウに於いて、西本智実のアシスタントピアニストを務め、同時に行われた、ベルリンフィルプレコンサートにてピアニストに抜擢。ソリストと共にラジオ録音に参加し、その模様がオランダ国内で放送される。

これまでに、手塚敏子、坪田昭三、クラウド・シルデ、故ハリーナ・チェルニー・ステファンスカの各氏に師事。現在ソロ活動の他に、室内楽、声楽、合唱の伴奏、コンクール、講習会等で幅広い演奏活動を行い、豊かな音楽性と繊細な表現力は、各方面から高い評価を受けている。

なお、当会館のスタインウェイピアノは、織田祥代氏が数ある中から渾身込めて選んでいた絶品です。2015年4月16日のコモッセこけら落とし公演では東京アカデミック交響楽団団長七澤英貴氏が演奏するオーボエと共演していただき、コモッセに深いゆかりの音楽家です。

